

富山市文化財保存活用地域計画策定事業 ワークショップ実施報告

1 実施概要

[実施概要]

項目	内容
開催日時・ 内容	① 令和6年12月8日(日)13:30~16:00 ・説明:富山市文化財保存活用地域計画の策定について(説明:生涯学習課) ・講演:富山市の川にまつわる歴史文化(講師:郷土博物館 坂森幹浩館長) ・グループワーク:常願寺川・神通川流域の歴史文化の特徴を考えよう (ファシリテーター:トークグラフィッカー®山口翔太氏) ② 令和6年12月22日(日)13:30~16:00 ・グループワーク:常願寺川・神通川流域の歴史文化のつながりを考えよう (ファシリテーター:トークグラフィッカー®山口翔太氏) ・発表・まとめ
開催場所	ToyamaSakura ビル5階 大会議室

2 実施結果

(1)【第1回 知る・学ぶ】常願寺川・神通川にまつわる歴史文化ストーリーを考えよう

参加者:20名 …グループ分け:常願寺川9名/神通川11名

[当日の風景]



会場の様子(坂森館長講演)



会場の様子(グループワーク)

[富山市の川にまつわる歴史文化(郷土博物館 坂森館長講演)]

令和6年度 富山市文化財保存活用地域計画策定のためのワークショップ
常願寺川・神通川にまつわる歴史文化ストーリーを考えよう 第1回：知る・学ぶ 2024.12.08

●講演「富山市の川にまつわる歴史文化」 (・神通川… ・常願寺川…)

●はじめに-富山市の川
 富山市郷土博物館 館長 坂森 幹浩さん
 川⇒水
 江戸時代初めごろまでの富山市の川
 現在のような定まった流路がなかった
 常願寺川 神通川

●神通川と常願寺川
 流域 2,720km²
 流路 120km
 水源:川上岳
 流量も県内最大

●水害
 明治43年の洪水
 河川改修
 旧流路 なぜ? 天正8年以降 富山町で80回以上
 流路変更と河口の付け替え
 多くの死者で災害が起きない川に

●水産資源
 魚・鮭・鮭が代表的
 明治45年、宮内省が3ヶ所を御印場に指定
 魚鱒ずし
 下流の水量が少なく、水生生物が生息することが難しい

●物流
 舟運 木町の峡
 富山 ↔ 東岩瀬
 おわりに 水害の克服 利水、川の水にまつわる信仰 災い避けに福を為す 舟

●電力 日本電源地帯
 大久保発電所 北陸初の送電開始
 盤寺発電所
 豊谷発電所 木沢発電所
 有峰ダム

●飲料水
 扇状地の湧水帯
 富山の水道水
 主要水源:常願寺川水系

●農業用水
 午の首用水
 常西合口用水
 世界が誇る施設遺産
 全国で唯一となる大規模な合口化

●交通の障害
 有沢渡し 船橋 舟渡し

作成：トークグラフィッカー® 山口翔太 (以下の絵もすべて山口氏によるもの)

[グループワークで出された歴史文化、文化財等]

令和6年度 富山市文化財保存活用地域計画策定のためのワークショップ
常願寺川・神通川にまつわる歴史文化ストーリーを考えよう 第1回：知る・学ぶ 2024.12.08

A班・神通川
 ・地域の発展
 ・農業と川の関係
 ・街中の中小河川と生活のつながり
 ・富岩運河 八田橋と水かけ地蔵
 ・舟内 舟大工
 ・午の首用水・大久保用水
 ・小水力発電所群
 ・花火
 ・シオパーク 神通峡・魔谷峠の地層
 ・田んぼ
 ・1919年
 ・能登半島地震と神通川の関係
 ・松川遊覧船と桜
 ・飛騨街道
 ・上流地域のつながり

B班・神通川
 ・犬島 草島 牛島 蔵島 中島 島尻 添島 秋ヶ島 栗島
 ・豊田遺跡・竹島家
 ・猿倉城 城生城
 ・八尾の和紙
 ・長橋金山
 ・魚温泉
 ・富岩運河
 ・婦負川・吳羽山
 ・古川
 ・与茂太郎川
 ・中神通中洲
 ・新倉比売神社
 ・加久比神社
 ・龍坂神社

C班・常願寺川
 ・寛政5年の沓瀬
 ・天井川
 ・佐々成政 湯田家
 ・立山登山
 ・扇状地
 ・石砂防塔
 ・災害の克服
 ・電線開通
 ・佐々堤 扇状林
 ・用水と生活
 ・常西合口用水
 ・太田開門
 ・水質 美味しい水
 ・湧き水
 ・大泉
 ・小泉
 ・石倉町

D班・常願寺川
 ・大洪水の経験
 ・お地蔵が怖い(供養)
 ・右岸と左岸で同名の村がある
 ・千奇橋
 ・橋の歴史
 ・常西用水
 ・横江の頭工
 ・本宮えん堤
 ・白岩えん堤
 ・大転石
 ・令和6年 能登半島地震の液状化
 ・佐々堤 (佐々成政)
 ・ギレーク
 ・発電設備
 ・石倉町の延命地蔵
 ・的場の泉(富山太田)
 ・民謡「利田荷ち」
 ・草競馬
 ・有山葎湖
 ・滝

(2) 【第2回 つながる】常願寺川・神通川にまつわる歴史文化ストーリーを考えよう

参加者：15名 …グループ分け：常願寺川7名／神通川8名

[当日の風景]



会場の様子(グループワーク)



会場の様子(グループワーク)



会場の様子(グループワーク)



会場の様子(グループワーク)

3 実施結果

①参加者からあげられた流域の「歴史文化・文化財」

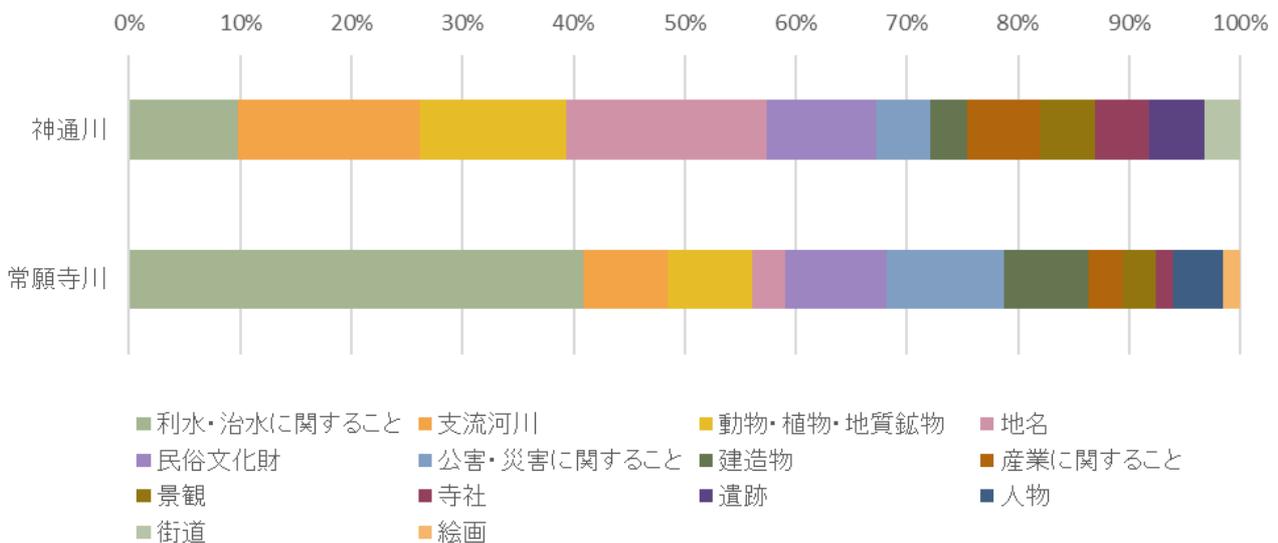
- ・参加者より、神通川 61 件、常願寺川 66 件、計 127 件(重複あり)の「歴史文化・文化財」があげられ、それらを整理すると、利水・治水に関するものが全体の 26.0%で 33 件、次に支流河川が 11.8%で 15 件、動物・植物・地質鉱物、地名がそれぞれ 10.2%で 13 件、民俗文化財が 9.2%で 12 件あげられており、神通川、常願寺川の恵みに育まれた歴史文化・文化財に親しみを持っていることがうかがえます。
- ・神通川流域では、合計 61 件の「歴史文化・文化財」があげられ、内訳は、犬島、草島など島がつく地名や廃村した桜谷村など地名に関するものが 11 件、いたち川や熊野川など支流河川が 10 件、川魚や地層、鯉温泉など動物・植物・地質鉱物に関係するものが 8 件、水かけ地蔵やささ舟など民俗文化財が 6 件、富岩運河、牛ヶ首用水など利水・治水に関するものが 6 件、薬業や八尾の和紙など産業に関わるものが 4 件、松川遊覧船と桜、呉羽山など景観に関するものが 3 件、姉倉比売神社など神社が 3 件、猿倉城など遺跡が 3 件、イタイタイ病

など公害・災害に関することが3件、竹島家など建造物が2件、旧飛騨街道など街道に関することが2件となっています。

・常願寺川流域では、合計66件の「歴史文化・文化財」があげられ、内訳は、佐々堤や常西用水など利水・治水に関することが27件、安政5年の氾濫など公害・災害に関することが7件、延命地蔵や利田荷方など民俗文化財が6件、いたち川や婦負川など支流河川が5件、浮田家など建造物が5件、ざら峠など動物・植物・地質鉱物が5件、佐々成政など人物が3件、引越村など地名に関することが2件、産業に関することが2件、立山など景観が2件、寺社仏閣が1件、絵馬など絵画が1件となっています。

[あげられた流域の「歴史文化・文化財」の概要]

歴史文化・文化財	神通川流域	常願寺川流域	合計
利水・治水に関すること	6	27	33
支流河川	10	5	15
動物・植物・地質鉱物	8	5	13
地名	11	2	13
民俗文化財	6	6	12
公害・災害に関すること	3	7	10
建造物	2	5	7
産業に関すること	4	2	6
景観	3	2	5
寺社	3	1	4
遺跡	3	0	3
人物	0	3	3
街道	2	0	2
絵画	0	1	1



②参加者が発表した歴史文化のつながりと保存・活用のアイデアに関する意見

令和6年度 富山市文化財保存活用地域計画策定のためのワークショップ
 常願寺川・神通川にまつわる歴史文化ストーリーを考えよう 第2回：つながる 2024.12.22

A班・神通川 『神通川が結ぶ人と大地の歴史
 ～川に3台、たぬき峠街道がつなぐ人・モノ・文化の移動～』

神通川 (人) 大地の歴史 飛騨峠街道 移動 (人) (モノ) (文化)

〈関係する歴史文化・文化財〉

- 産業: 売薬・発電・川魚
- 輸送: かのの渡し・笹舟
- 大地: ジオパーク・土層

〈保存・活用のアイデア〉

- 富山市の文化遺産としての制度
- 発信: SNS、インターネット
- ガイドツアー
- 飛騨峠街道サミット
- 観光: さっかけ、教育、総合学習
- デジタル化: SNS映える仕掛け、ゲーム性

B班・神通川 『新発見!! 富山の答えは「島」にある』

「島」がつく地名 → 未来につなげる (文化) (防災)

〈関係する歴史文化・文化財〉

- 島がつく地名: 蔵島、添島、栗島、薄島、草島、犬島、秋ヶ島、青島、宮ヶ島、中島、牛島、福島
- 神通川: 島とつく場所は、水が浸みにくい? 重要な都市施設も立地

〈保存・活用のアイデア〉

- 島サミット: 地域の文化・伝承を集める
- 観光: 地域の文化を新たに発見、観光、新観光ルート
- デジタル化: SNS映える仕掛け、ゲーム性、文化を伝える

令和6年度 富山市文化財保存活用地域計画策定のためのワークショップ
 常願寺川・神通川にまつわる歴史文化ストーリーを考えよう 第2回：つながる 2024.12.22

C班・常願寺川 『上流を治めなければ止まらない 暴れんぼ常願寺川』

治水 (人) 暴れんぼ常願寺川 まちがある (土木工事) 土壌 (上流) なためる

〈関係する歴史文化・文化財〉

- 佐々堤
- 常西用水
- デレーク
- 電源開発
- おき水

〈保存・活用のアイデア〉

- ツアーをつくる
- 魅力自白
- 「ログインク」
- スポーツレクリエーション
- 治水の歴史のPR
- 見せ伝える
- 上流と下流の交流会

D班・常願寺川 『急流荒鹿河川常願寺川がうみだした治水・利水の歴史が学ぶ』

常願寺川 急流荒鹿河川 治水・利水 (災害) (文化) (歴史) 大地の成り立ち 先人の知恵

〈関係する歴史文化・文化財〉

- 上流の賑わい
- えん堤
- 左岸と右岸のつながり
- 橋の歴史

〈保存・活用のアイデア〉

- パンフレット
- 総合学習
- 絵を使ってまとめる
- 研究会をつくる
- 過去に学ぶ
- 勉強 発信

・保存・活用のアイデアについて、市民が歴史文化・文化財に触れるきっかけを作ることや、子どもたちへの教育の機会、歴史文化・文化財と観光をつなげた企画などを重要視する意見がありました。

[あげられた意見の詳細]

No.	参加者からあげられた意見
1	文化財を知ってもらうフェスティバルをする
2	インターネット、SNS 発信
3	発信の方法を検討する
4	地元自慢を紹介する
5	富山市の文化遺産といった制度をつくる
6	飛騨街道サミットを実施する
7	歴史に関する観光ガイドツアー
8	子どもたちへの教育(総合学習などきっかけをつくる)
9	体験や活動を実施して、歴史文化・文化財に触れる
10	歴史文化・文化財を教える人を育成する
11	古老から話を聞いて、記録を作成する
12	島サミットを開催する(地名に島のつく地域の長老とワークショップ、地域の文化財発見など)
13	新しい観光ルートを開発する
14	デジタル化
15	キャラクターをつくる
16	SNS 映えする仕掛けをする
17	ゲーム性を用いた企画(文化と防災を結び付ける)
18	トロッコで治水の歴史を見せPRする
19	観光ツールとして、ロゲイニング・スポーツレクリエーションを用いる
20	上流と下流の交流会を開催する
21	絵をつかってまとめる
22	研究会をつくり、勉強、発信する(過去に学ぶ)
23	地域の博物館で子どもにパンフレットを渡す

4 参加者アンケート結果（回答者数…15）

問1 当ワークショップに参加した理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

項目	件数	割合
1. 富山市の文化財の保存や活用に関わる取組を既に行っているから	4	26.7%
2. 富山市の文化財や歴史文化に興味があるから	10	66.7%
3. 歴史が好きだから	4	26.7%
4. 友人・知人からの紹介	1	6.7%
5. その他	0	0.0%

問2 当集いをどのようにお知りになりましたか。（あてはまるものすべてに○）

項目	件数	割合
1. 富山市広報	6	40.0%
2. 富山市ホームページ	0	0.0%
3. チラシ	5	33.3%
4. 友人・知人からの紹介	3	20.0%
5. その他	1	6.7%

<その他> ・富山のくすり 大坂道修町の歴史講座より

<チラシ入手先> ・富山市民俗民芸村講演会 ・坂森先生の売薬版画の講座 ・市観光協会

問3 当ワークショップの回数等の程度はどうでしたか。（あてはまるものすべてに○）

項目	件数	割合
1. 全2回は参加しやすい	10	66.7%
2. 回数はもっと多いとよい	4	26.7%
3. 回数は1回でよい	1	6.7%
4. 時間はちょうどよかった	4	26.7%
5. 時間は長かった	0	0.0%
6. 時間は短かった	0	0.0%

<希望回数> ・3回 ・5～6回 ・月1回

問4 当ワークショップの内容に関して教えてください

(1)常願寺川や神通川に関係する歴史文化や文化財への理解が深まりましたか。（ひとつに○）

項目	件数	割合
1. 理解が深まった	13	86.7%
2. 特に変わらない	1	6.7%
3. わからない	0	0.0%
4. その他	1	6.7%

<その他> ・理解がやや深まった

(2)富山市にある歴史文化や文化財への関心が高まりましたか(ひとつに○)

項目	件数	割合
1. 関心が高まった	14	93.3%
2. 特に変わらない	1	6.7%
3. わからない	0	0.0%
4. その他	0	0.0%

問5 あなたは今後どのような形で文化財の保存・活用に携わりたいですか。(あてはまるものすべてに○)

項目	件数	割合
1. イベントや祭りへの参加	5	33.3%
2. 地域の史跡や文化財関連施設・博物館施設などでのガイドボランティア活動	7	46.7%
3. 文化財を守るためのボランティア活動(清掃(草刈りやゴミ拾いなど)など)	1	6.7%
4. 伝統芸能・技術などの継承(祭りや舞踊の担い手などとして)	0	0.0%
5. インターネット(歴史や文化に関するホームページなど)での情報発信	1	6.7%
6. SNS(LINE、Facebook、Instagram、X など)での情報発信	2	13.3%
7. 定期的な文化財の現状確認	4	26.7%
8. 写真や映像などでの記録	4	26.7%
9. 保存・活用のための寄付	0	0.0%
10. 地域に眠る資料の調査や収集、整理	6	40.0%
11. 講座などの受講	9	60.0%
12. その他	0	0.0%
13. 特に関わりたくない	0	0.0%

問6 富山市の歴史文化や文化財を大切に活用しながら守り、将来に伝えていくための取組の夢やアイデア、文化財の保存・活用に関してご意見、当ワークショップのご感想があれば、ご自由にご記入ください。

○歴史文化や文化財を大切に使いながら守り、将来に伝えていくための取組の夢やアイデア

- ・旧飛騨街道の復元活動をしています。一度歩いてみて、文化財的価値があるかと見て下さい。
- ・可能なら小学生、中学生、高校生と共にワークショップができれば未来につながるのかな…と思いました。富山は発信のしかたがヘタだと思います。金岡邸などは全国に誇れる文化財だと思います。
- ・小中学校に1学期間、集中的に出張教室できれば現地観察、活動を含めた啓発講座を行えば良いと思います。
- ・官民の協力体制の構築が重要
- ・文化財を未来に伝える知恵としてみると、役に立つ情報の宝箱と思います。

○ワークショップについてのご意見

- ・大変文化財を考えるうえで、興味深い体験でした。いろいろな方々の意見を聞くことができて参考になりました。
- ・富山にこんなに熱い思いのある人が居る事に感心しました。
- ・楽しくコミュニケーションがとれて良かったです。神通川も常願寺川も富山の発展の基となったという事を深く感じる事が出来ました。

以上